

令和7年3月12日（水曜日）
予算決算委員会経済観光分科会
第4委員会室
出席委員

竹中由佳、中西祥子、阿山正人、八木隆次郎、
石見和之、宮本吉秀、杉本博昭、嶋谷秀樹、
西村しのぶ

【経済観光委員会（観光経済局）の審査】

再開 13時58分
観光経済局 13時58分
送付議案説明

- ・議案第1号 令和7年度姫路市一般会計予算について
- ・議案第12号 令和6年度姫路市一般会計補正予算（第9回）について

質疑 14時22分

（質問）

プレミアム付き商品券事業について、令和6年度事業からデジタル商品券のみとするに当たり、高齢者の反応が心配されたが、利用状況はどのようになっているのか。

（答弁）

デジタル商品券自体の発行は3年目であったことや、高齢者支援課の実施するデジタル・ディバイド対策事業と連携し、対面による個別サポート窓口を開設するなどしたこともあって、比較的スムーズに受け入れられたという印象を持っており、実際にデジタル商品券の高齢者利用率は大きく上昇している。

（質問）

令和7年度事業では、一般枠に加え、新たにシルバーデジタル応援枠及び子育て応援枠を設けているが、それぞれの創設意図について説明してもらいたい。

（答弁）

シルバーデジタル応援枠については、高齢者のデジタル商品券の利用率が上昇したというものの、デジタルの普及啓発の観点では、まだ道半ばという認識であることから、75歳以上の高齢者に対して高いプレミアム率を設定し、デジタル機器の利用促進を図りたいと考えているものである。

また、子育て応援枠については、物価高騰の影響が特に大きい子育て世帯への支援を充実させることに加え、商品券の申込みには1人につき1台のスマートフォンが必要であったことから、スマートフォンを持たない子どもたちの申込機会が喪失されていたという課題に対応するため、世帯代表者が子どもの分もまとめて申込みできるよう、仕組みを変更するものである。

（質問）

大阪・関西万博、瀬戸内国際芸術祭を契機とした誘客プロモーションとして、姫路城で獅子舞・太鼓による特別なおもてなしを行うとのことだが、出演団体は決定しているのか。

（答弁）

現在調整中であるが、出演団体は5月と6月の土日で1日当たり2団体程度としているため、複数の地域の獅子舞団体に出演依頼をしているところである。

（要望）

手柄山スポーツ施設整備運営事業について、近隣住民の迷惑とならないよう、工事の騒音等は極力抑えるよう配慮されたい。

（意見）

手柄山スポーツ施設整備運営事業の工事の騒音等については、個人の受け取り方による差異もあると思われるが、現在は特に気にならないという声もある。

（質問）

手柄山スポーツ施設整備運営事業において、地中障害物の影響により令和6年度予算を令和7年度へ繰り越すとのことだが、どのようなものが出てきたのか。

（答弁）

コンクリートがらであったり、旧市民プールのくいが残っていたものである。また、併せて地盤改良も実施しており、その費用も含めて繰越しをしている。

（質問）

工期に影響はないのか。

（答弁）

令和4年度から8年度までの整備期間の中で、当初想定よりも日数を要した作業もあるが、令和8年10月の供用開始を目指し、工事の班体制の見直しをするなど遅れを取り戻す対応について事業者と調整済みである。

(質問)

世界遺産姫路城マラソン開催経費の令和 7 年度予算額は、前年度と比較して約 5,000 万円もの減額となっているが、同予算額でどのように運営していこうと考えているのか。

(答弁)

例えば、レセプションパーティーの見直しや、タオル等の参加記念品を有償化することなどによる運営経費の削減であったり、協賛企業の拡充に伴う協賛金収入の拡大や、参加料の値上げといった収支改善案を検討している。

同大会実行委員会との調整が必要になるものの、これらの実行により令和 7 年度予算で大会を運営していきたいと考えている。

(質問)

スポーツコミッション事業について今後どのように取り組んでいこうと考えているのか。

(答弁)

スポーツコミッション事業では、本市を拠点とするトップチームであるヴィクトリーナ姫路、A Sハリマアルビオン、姫路イーグレッターズ、姫路イーグレッツの 4 団体について、地域を挙げて応援する機運を醸成していきたいと考えている。

そのため、トップチームとの連携もより一層強化していきたいと考えている。

(質問)

スポーツメディカル事業の予算は予算書のどこで確認できるのか。

(答弁)

市直営事業として実施するものであるが、スポーツコミッション事業費に含まれている。

(質問)

新規事業の観光分野における女性活躍セミナーについて、同セミナーの対象者は観光分野に関心のある女性や経営者とのことであったが、経営者には男性経営者も含まれるのか。

(答弁)

同セミナーは、観光産業が女性の働き口として需要が高いことから実施するもので、観光分野での就職を目指す女性と観光産業の企業とのマッチングまで視野に入れて事業内容を検討しており、経営側の参加者

には男女問わず参加してもらいたいと考えている。

(要望)

男女共同参画などの会議体では、女性の委員ばかりで議論するのではなく、男性が会議に参加し理解してもらうことが重要であるということをよく言われているので、男性経営者も対象としているのはよいことである。

観光産業の発展のため、女性が働きやすい職場環境への理解が、男性、女性ともに進むよう事業構築に努められたい。

(質問)

新規事業として、女性や高齢者等の働きやすい職場環境の整備に対し補助率 4 分の 1 の助成を行うとのことだが、具体的にどのような整備が対象となるのか。

(答弁)

同事業はもともとは県の事業であり、それに本市で上乗せ支援を行うものである。

対象としては、女性用のトイレや更衣室の整備をはじめ、コミュニケーションを促進するものとしての休憩室の整備、高齢者に向けた手すりの整備や段差解消のための整備が想定される。

(質問)

新規事業の女性就労に関する実態調査についてであるが、私は、現代の女性は、子どもを産むこと、出産後はすぐ働きに出ることといったように、非常に多くのことを社会から求められる存在であると思っている。

しかしながら、全ての女性が働きたいと思っているわけではなく、家庭で子どもと過ごしたいと思っている女性も少なからずおり、女性就労を推進する昨今の社会の風潮は、そういった女性に対し心理的なプレッシャーとなっている。

母親が働くことに対して子ども自身がどう思っているのか聞いてほしいという声もある。

実態調査をするに当たっては、女性が本当に働きたいと思っているのかということも含めた調査にしてもらいたいと考えるがどうか。

(答弁)

同調査の実施に当たっては、様々な観点から情報を収集し、得られた情報がどのように施策に結び付けられるかも踏まえながら、調査項目について検討してき

たい。

(質問)

姫路城マラソンの事業見直しに当たって検討している収支改善案の1つとして、タオル等の参加賞を有償化し、要不要を選択制にしたいとのことである。

参加料金を値上げしようとしている中で、さらに参加賞も有償化するとすると、同大会のランナーからの評判が下がってしまうのではないかと思うがどうか。

(答弁)

指摘の内容について、ランナーの心情としては理解できるものの、物価高騰や予算額の削減に対応するためには、参加料の値上げと参加賞の有償化といった収支改善案はどちらも実施していかざるを得ないものと考えている。

一部の大会参加者からは参加賞は不要との声もあるため、同改善案の実施により大会参加者が減るかどうかはやってみないと分からないが、限られた予算の中で極力大会の魅力を損ねることのないよう検討を重ねていきたい。

(質問)

スポーツコミッション事業費について、令和7年度予算が前年度予算と比較して約7,000万円の減額となっている。

今後、スポーツコミッションを含めたスポーツ振興に注力していくと言いつながらとも予算が減少していることについてどのように考えているのか。

(答弁)

令和7年度予算が約7,000万円減少しているように見えるが、これは令和6年度にウイंक球場リニューアル記念事業の一環として実施した手柄山オータムジャンボリーなどのイベント開催経費が令和7年度は不要となったためであり、スポーツコミッションの運営に係る事業費自体は増額となっている。

令和7年度は、市内のプロスポーツチームや各種競技団体と大会誘致について協議していく予定としており、同予算を適切に執行していきたいと考えている。

(要望)

令和7年3月には第2期姫路市スポーツ推進計画を策定し、スポーツ振興を推進していこうとする中にあることは、スポーツコミッションが脆弱とならないように取り組まれない。

役職定年者挨拶

観光経済局終了

14時56分

【経済観光委員会の意見取りまとめ】

意見取りまとめ

14時59分

・分科会長報告について

正副分科会長に一任することに決定。

意見取りまとめ終了

15時00分

閉会

15時00分